

平成17年9月5日

自由民主党大田区民連合 様

東京商工会議所大田支部
会長 田 中 常 雅

大田区政に対する要望事項について

拝啓 貴党ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部の事業活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、東京商工会議所大田支部として下記のとおり要望いたします。

いずれもが、大田区としてすぐに取り組み、解決を図るべき重要課題であります。

議会の皆様方のご理解をいただき、より良い大田区の構築に向け、力強い行動を賜りますよう、お願い申し上げます。 敬具

記

1. 産業振興策について

(1) ブランド戦略の推進

東商大田支部では、区内の製造業等を対象に地域ブランドとしての「大田ブランド〇〇Q<オンリー・オータ・クオリティー>」の事業化に向け、財団法人大田区産業振興協会と準備作業を進めている。

この大田ブランド事業は高度な技術集積地である大田区、またそれを構成する企業を国内外に広くPRし、相互の連携強化とビジネスチャンスの拡大に資することを目的としており、基幹産業である製造業のみならず区内産業全体の活性化にも大きく貢献するものと確信している。

是非とも、行政も先頭に立って推進してほしい。

(2) リーディング産業の誘致

大田区の発展はものづくり産業の盛衰如何にかかっているといたっても過言ではない。

高度な技術力を持った大田区のものづくり産業が今後、さらなる成長発展を遂げるためにはシーズを提供し、また共同開発や発注を通じて区内中小企業の収益改善や技術力向上が見込まれる産業との接点を見出し、また繋げていくことが重要である。

そのためにも、航空機産業などリーディング産業となる分野の中心企業や産学研究機関の区内誘致を図られたい。

(3) 産業振興関連予算の拡充と実働

大田区内には3万有余の事業所があるが、事業所数に比し、産業振興・中小企業対策予算は予算全体の数パーセントに過ぎず、停滞ぎみの大田区経済を活性化させるためには産業振興関連予算を拡充し、実効ある事業を展開することが必要である。

また、職員の持つ経験・知識・ノウハウを活かし、より実効ある事業が企画・実施できるように、明確な目標の設定、人材配置、人材の活用、産業界との連携システムを導入することが望まれる。

2. まちづくりについて

大田区の基本構想や都市計画マスタープランに示されている「安全・安心で人にやさしいまち」を実現するため、**<交差点におけるワイドミラーの増設>**、**<歩道確保のための電柱地下埋設>**、**<歩道と車道との段差解消>**、**<駅周辺の放置自転車対策強化と駐輪場確保>**について早急に対策を講じられたい。

3. 観光振興について

羽田空港跡地について大田区案が提示されたが、さらに具体性をもった訴求力のある提案に発展させ実現することを強く望んでいる。当支部としては話題性に富み、また、大きな波及効果が見込まれる集客観光施設として**「アリーナ」と「航空宇宙博物館」**の建設を提案したい。

是非、その実現に向け関係者間の調整を図られたい。

以 上